

## クイック・スタート・ガイド

この資料は、**Linux** ディストリビューション用に **DataPower Gateway** 仮想エディションを初めて使用するとき役に立ちます。

### 製品の概要

DataPower® Gateway 仮想エディションは、Ubuntu または RHEL 上でアプリケーションとして実行されます。DataPower Gateway をインストールするには、Debian または RPM の 2 つのパッケージが必要です。非実動製品と開発者製品は、テストおよび開発専用です。

インストールするには、DataPower Gateway のインストール先となるオペレーション・システムに応じて、Debian または RPM の 2 つのパッケージ (共通パッケージと仮想エディション製品固有のパッケージ) が必要です。

- xxx.common\_amd64.deb または xxx.common.x86\_64.rpm

このパッケージをインストールする必要があります。

- xxx.image\_amd64.deb または xxx.image.x86\_64.rpm

以下のいずれかのパッケージをインストールする必要があります。IBM® は、仮想エディション製品ごとに 1 つの Debian パッケージと 1 つの RPM パッケージを提供しています。

- xxx.prod.image\_amd64.deb または xxx.prod.image.x86\_64.rpm は実動パッケージです。
- xxx.nonprod.image\_amd64.deb または xxx.nonprod.image.rpm は非実動パッケージです。
- xxx.dev.image\_amd64.deb または xxx.dev.image.x86\_64.rpm は開発者パッケージです。

## 1 ステップ 1: ソフトウェアへのアクセス



パッケージを IBM パスポート・アドバンテージからダウンロードします。以下のコンポーネントが含まれています。

- DataPower Gateway をインストールするためのパッケージ。
  - Ubuntu 上で DataPower Gateway をアプリケーションとして実行するには、Debian パッケージを使用します。
  - RHEL 上で DataPower Gateway をアプリケーションとして実行するには、RPM パッケージを使用します。
- リソース・キット。
- この PDF 文書。

## 2 ステップ 2: ハードウェアおよびシステム構成の評価



DataPower Gateway をインストールするには、以下のシステム要件を満たす必要があります。

- <http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27040227> でシステム要件を参照し、サポートされるバージョンの Ubuntu または RHEL がホストで実行されていることを確認します。
- 最低でも 2 つの仮想プロセッサ (vCPU) と 4 GB RAM で構成されている。
- /opt で 2 GiB のフリー・ストレージが使用可能である。
- /var で 5 GiB のフリー・ストレージが使用可能である。
- 少なくとも 2 つのフリー・ループ・デバイスが必要 (RAID ストレージを使用する場合は追加のループ・デバイスが必要) である。
- RAID ストレージを使用する場合は、datapower.conf ファイルで構成する必要がある。

### 3 ステップ 3: DataPower Gateway のインストール



#### Ubuntu の場合

1. root として Ubuntu にログインします。
2. `xxx.common_amd64.deb` ファイルと `xxx.image_amd64.deb` ファイルを Ubuntu 上のターゲット・ディレクトリに転送します。
3. `dpkg -i /full_path/xxx.common_amd64.deb /full_path/xxx.image_amd64.deb` コマンドを使用して、Debian パッケージをインストールします。
4. 依存関係の欠落に関するエラー・メッセージを受け取った場合は、`apt-get -f install` コマンドを使用して修正します。

DataPower Gateway が自動的に始動します。Telnet 接続で、DataPower Gateway のポート 2200 の localhost にアクセスします。初期始動プロセスは、約 5 分かかります。

#### RHEL の場合

1. root として RHEL にログインします。
2. `xxx.common.x86_64.rpm` ファイルと `xxx.image.x86_64.rpm` ファイルを、RHEL 上のターゲット・ディレクトリに転送します。
3. `yum install xxx.image.x86_64.rpm xxx.common.x86_64.rpm` コマンドを使用して、RPM パッケージをインストールします。
4. `systemctl start datapower` を使用して、DataPower Gateway を始動します。初期始動プロセスは、約 5 分かかります。
5. Telnet 接続で、`telnet 0 2200` コマンドを使用して DataPower Gateway のポート 2200 の localhost にアクセスします。

### 4 ステップ 4: 始めに



DataPower Gateway を初期化した後で、Web 管理サービスを構成して DataPower GUI にアクセスし、ご使用条件に同意する必要があります。

DataPower Gateway を初期化するには、以下の手順を実行します。

1. 「Login: (ログイン:)」プロンプトに、admin と入力します。admin はローカル・ユーザー・アカウントの名前です。このアカウントの所有者はスーパーユーザーです。
2. 「Password: (パスワード:)」プロンプトに、admin と入力します。admin は admin アカウントのデフォルトのパスワードです。スクリプトは後に、このパスワードを変更するように求めるプロンプトを出します。
3. プロンプトに従って、適切な動作モードを有効にします。
4. DataPower Web 管理インターフェースを構成して GUI にアクセスし、ご使用条件に同意します。コマンドによって、ポート 9090 の Web 管理インターフェースが構成されます。IP アドレスは、Linux ホストのアドレスです。

```
# configure terminal
# web-mgmt
# admin-state enabled
# local-address eth0_ipv4_1
# exit
```

5. GUI にアクセスして、ご使用条件に同意します。Web 管理インターフェースにアクセスするためのアドレスは、HTTPS プロトコルを使用して、`https://address:port` という形式にします。
6. ご使用条件に同意します。

### 5 ステップ 5: モジュールの管理



実動の場合は、IBM パスポート・アドバンテージでモジュールを購入します。モジュールを購入すると、アクティベーション・ツールとインストール手順を含むパッケージを受け取ります。

非実動と開発者の場合は、無効化ツールを使用して、不要なモジュールを無効にします。このツールは、IBM Fix Central から無償で入手することができます。

### 詳細情報



詳しくは、IBM Knowledge Center (<http://ibm.com/support/knowledgecenter/SS9H2Y>) の IBM DataPower Gateways 資料を参照してください。